

めあて

筆者がどんな「読み取ったことや感じたことを表す表現」を使って絵を評価しているのか読み取るう。

※教材文（教科書132ページから138ページ）を
拡大コピーしたものを提示します。

- ・ 実にすばらしい
- ・ のびのびとした
- ・ 正確で
- ・ とびきりモダン

など

言葉をほめる絵

- ・ くちがいない
- ・ まるでくのような
- ・ くとしか思えない

など

想像したり感じたり
したことを伝える
言葉

◇解説文に使いたい「読み取ったことや感じたことを表す表現」

※児童がカードに書いたものを
掲示します。

【3 / 9時間目 指導略案】 使用するワークシート『鳥獣戯画』を読む②
本時のねらい

筆者がどんな言葉で絵を評価しているのかを整理させ、筆者の表現の工夫を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 学習計画表を提示し、筆者がどんな言葉で絵を評価しているかを学ぶことで、解説文を書くときに役に立つことを確認させる。

2 筆者が使っている「読み取ったことや感じたことを表す表現」をワークシートに整理する。

○ 第一、二段落をモデルにし、学級全体で「読み取ったことや感じたことを表す表現」の具体例を挙げて確認をさせる。（のびのびと、くとしか思えない、など）

○ 第三段落から第九段落までに筆者が使っている「読み取ったことや感じたことを表す表現」を段落ごとに分けて整理をさせ、ワークシートの「読み取ったことや感じたことを表す表現」の欄に記入させる。

3 「読み取ったことや感じたことを表す表現」を出し合い、筆者の表現について話し合う。

○ グループで「読み取ったことや感じたことを表す表現」を出し合い、交流させた後、学級全体で交流させる。

※ 交流のときは、言葉を出し合うだけでなく、別の言葉に置き換えさせたり、自分だったらどんな言葉で評価するかなどを話し合わせたりすると、より深い読み取りができます。

評価 筆者が使っている「読み取ったことや感じたことを表す表現」を整理し、
表現の工夫を読み取っている。（読む）

4 筆者が使っている読み取ったことや感じたことを表す表現の中で自分が使いたい言葉を選ぶ。

○ 自分の解説文に使いたい言葉を選ばせ、カードに書かせる。
※ カードは一覧にして掲示しておく、その後の学習に生かすことができます。

5 本時の振り返りをして、次時の学習を確認する。

○ 次時は、筆者の表現や構成の工夫を読み取ることを知らせる。